

世界トップレベルの研究の創造 本学が継承してきた知の蓄積を社会に

未来科学技術共同研究センターに 新研究棟「未来産業技術共同研究館」完成

未来科学技術共同研究センターの新しい産学研究棟「未来産業技術共同研究館」が青葉山新キャンパスに完成した。新研究館は経済産業省「平成20年度地域企業立地促進等共用施設整備費補助金」の交付により整備がすすめられていたもので、地域における産業集積の形成及び活性化のための取り組みを支援する人材育成施設として建設されると同時に、企業との一層の共同研究推進により本学の「サイエンスパーク構想の実現に向けた取り組み」の第一歩としての機能をあわせ持っている。

先端的な研究成果を迅速に吸収し短期間で実用化するため、大学研究者と大企業及び複数の地域中小企業及びグローバルニッチを目指す国内中小企業からの研究者・技術者・技能者等と共に共同研究等を実施し、大学の基礎研究と関連付けた実用化共同研究を実施する。

2015年に開業予定の仙台市営地下鉄東西線の青葉山駅(仮称)にも隣接しており、交通アクセスにも恵まれた研究館となる。



産学官連携で高い評価 第8回産学官連携功労者表彰で2名受賞

産学官連携功労者表彰は、大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、先導的な取り組みを行うなど、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関しその功績を称えることにより、我が国の産学官連携の更なる進展に寄与することを目的として平成15年度より行われている。本年度は、本学から教員2名が文部科学大臣賞を受賞した。

文部科学大臣賞

「超ハイブリッド材料」の開発

原子分子材料科学高等研究機構 阿尻 雅文 教授

有機無機ハイブリッドナノ粒子を連続合成できる超臨界水熱合成法を発明。この技術に基づき、経済産業省、NEDOによる「超ハイブリッド材料技術開発」プロジェクトとして、(財)化学技術戦略推進機構、(独)産業技術総合研究所と連携し、相反機能を両立させた複合材料の開発に成功した。本技術は新規産業技術基盤として、自動車、LED、対環境技術など、極めて広い分野への波及効果が期待できる。



高熱伝導材料(放熱シート)



光学材料(反射防止フィルム)

文部科学大臣賞

鋳造 CAE システム「ADSTEFAN」の開発

工学研究科 安斎 浩一 教授

鋳造技術者のための鋳造CAEシステム「Stefan 3D」を研究・開発。その後、(株)日立製作所への技術移転によりソフトウェアシステム「ADSTEFAN」として製品化され、現在では日本国内に限らず、アジア各国で幅広く利用されている。鋳造品の高品質化・低コスト化を実現したことで、製品化以来、毎年バージョンアップを実施。社会ニーズへの的確な対応を継続している優れた事例である。



スロットルチャンバ実鋳造品と湯流れ解析結果

第2回東北大学国際産学連携シンポジウム

2010年2月22日、文部科学省産学官連携戦略展開事業「国際的な産学官連携活動の推進」の一環として、東京大手町サンケイプラザにて「第2回東北大学国際産学連携シンポジウム」が開催された。第2回目の開催となる今年度のシンポジウムでは、国内外における産学連携の現状に関する講演などとともに、世界リーディングユニバーシティを目指した本学の産学連携、さらに国際展開において中心的な役割を担う研究者による事例報告を通じて、多研究領域における本学の国際研究競争力が国内外の企業関係者等に向けて発信された。

はじめに本学の井上明久総長と文部科学省研究振興局、柳孝研究環境・産業連携課長より開会挨拶があり、続いて在日米国大使館マーク・ウォール経済担当公使が「産学連携の促進における政府の役割—米国の視点」と題した基調講演を行った。

当日は、政府、経済、教育、海外、各諸機関の産学連携関係者及び有識者など約120名が集まり、本シンポジウムは盛況のうちに幕を閉じた。

東北大学では、今後も自学の国際産学連携業務の推進、

更には日本国全体の国際的な産学官連携事業の活性化への貢献に努めていく予定である。



ドイツ・イノベーション・アワード「ゴットフリード・ワグネル賞2009」2等賞を受賞

2010年2月8日、グランドハイアット東京にてドイツ・イノベーション・アワード「ゴットフリード・ワグネル賞2009」の授賞式が開催され、工学研究科バイオロボティクス専攻の福島誉史助教(小柳研究室)が革新的な物理的・化学的アプローチを採用した「三次元積層型集積回路のための自己組織化チップ実装技術に関する研究」により「ゴットフリード・ワグネル賞2009」2等賞を受賞した。

この賞は、日本に縁の深いドイツ人科学者ゴットフリード・ワグネル氏にちなみ、テクノロジーを重視するドイツ企業12社と在日ドイツ商工会議所により、優れた日本の若手研究者を支援し日独間の産学連携を進めるために創設されたものである。本学の若手研究者が受賞するのは、昨年度に続き2度目である(昨年度は多元物質科学研究所齋藤研究室の吉川グループが同賞を受賞)。今後も、日独両国の産学連携促進に大きく寄与できるよう、各方面より期待が寄せられている。



産学連携のきっかけづくりに! 「東北大学研究シーズ集」Web版(日本語版・英語版)を公開

東北大学産学連携推進本部では、本学の研究者の研究成果や研究リソースを産業界等で活用いただく機会の増加を目的に「東北大学研究シーズ集」Web版を公開。ライフサイエンス・情報通信・環境・ナノテクノロジー・材料・エネルギー・ものづくり技術・社会基盤・フロンティアなどの研究分野一覧をはじめ、様々なナビゲーション機能、関連情報への豊富なリンクなど、便利な機能で情報収集をサポートする。開発テーマの探索や共同研究のテーマ探しなどにも活用できる。

<http://www.rpip.tohoku.ac.jp/seeds/>

